

令和 7 年 7 月 2 1 日
小金井市保育課、くりのみ保育園、さくら保育園

段階的縮小園（くりのみ保育園・さくら保育園）における保育の取組内容について

1 基本的な考え方

段階的縮小前と同じ内容の保育の取組（異年齢保育、年齢の異なる児童との関わりなど）を行うことを目指すのではなく、段階的縮小が進む中、在籍している児童の状況に合わせた保育を行っていきます。

小金井市の保育の基本的な考え方として、保育で大切にしてきたこと、大切にしていることには変わりありません。保育指針や全体的な計画、年間計画を基盤としつつ、目の前の子どもたちの最善の利益を第一に考え、園の状況や社会的な変化に応じて柔軟に保育実践を行っています。例えば、コロナ禍の際には、お泊まり保育が実施できない状況でも、その目的を達成できる別の形を模索し、現在もその取り組みを子どもたち一人ひとりに合わせて展開しています。

同様に、段階的縮小が進む中でも、過去と同じ内容の保育を目指すのではなく、現在置かれている状況において、その時々子どもたちに最も適した保育を行うことを重視します。子どもたちと共に何を経験し、その経験を通じてどのような成長を育むかを考え、子どもたちの声に耳を傾けながら、全力で取り組んでいきます。

私たちは、子どもたちが現在を最も良く生き、望ましい未来を創り出す力の基礎を培うことを目標に、変化する環境の中でも子ども中心の視点を持った保育を実践していきます。

2 取組の内容（案）

以下は、園の職員を中心に考えている取り組みのアイデアです。1で述べているとおり、園では、その時の子ども一人ひとりに合わせた保育計画を考え、展開して行きますので、あくまで案として記載しています。

① 年齢に合わせた充実した活動の実施

在籍学年が少なくなることで、活動の時間や量を増やし、遠距離の散歩や多様な遊び、取り組みが可能になる。

② 食育の充実

- ・ 給食室と連携した食育活動の強化
- ・ 年間のクッキング回数を増やし、給食室職員が最初から最後までクッキング活動に参加。

③ 他園との交流および体験活動の拡充

ピクニックや遠足以外でもマイクロバスの利用を増やし、日常保育の幅を広げる。

④ 保育環境の工夫

空いている部屋を活用し、ランチルーム、制作ルーム、構成遊びルーム、午睡ルームを設け、活動場所を確保して充実した保育を実施。

⑤ 園庭の活用

子どもたちと相談しながら園庭の特別な利用方法を提案（例：庭作り、アスレチックの冒険ごっこ、キャンプ場風の屋外クッキングなど）。

⑥ 遊びの継続性を重視した保育

遊びの状態を室内や園庭で数日間キープし、継続的に遊びを楽しむ。

3 取組の進め方

年度ごとの子どもたちの人数や様子に合わせて保育内容や行事を計画し、立案した年間計画に基づいて保育を実施します。その進捗について、保護者の皆さんにしっかり情報共有を行いながら進めていきます。

具体的には、園便りや懇談会を通じて、その年の保育方針や行事についてお伝えするとともに、段階的縮小期間における新たな取り組みの目的や内容も併せて共有します。

また、懇談会では、日常の保育や子どもたちの様子を今まで同様にお伝えしながら、特にその年度ならではの特色ある活動や次年度の保育計画についてもお話しし、保育内容について理解を深めていただけるよう努めます。

保護者の皆さんと子どもたちの様子や気持ちを共有しながら、子どもたちの成長に寄り添った保育を進めていきます。